

令和2年5月15日 校長 高倉 満

## 「新たなスタートの6月へ」職員で意識していく「さ・し・す・せ・そ」

□6月は長い臨時休校が終わり、待ちに待った学校再開、そして授業スタートになると期待しています。生徒は今まで家庭で生活をし、いろんなことを我慢してきました。きっと友達との会話、授業、部活とエネルギーを爆発させると思います。逆に、生活習慣が崩れ、勉強に集中できず、不安で落ち着かない態度を見せたり、登校をしぶったりする生徒もいると思います。ぜひ、学年はもちろん、学年を越えて生徒の様子を注意深く見守っていきましょう。私は先生達のチームワークを信じています。これから蒸し暑くなり、雨が降り、うっとうしい季節に向かいます。中体連大会に向けて見通しが持てず練習するにも不安だと思えます。また今まで活動できていない分、体力的にも大変で疲れが溜まると思えます。長い休校明けで、勉強がわからずイライラしたりする生徒も出てくると思えます。ある記事によると6月は交通事故や生徒の欠席、いじめ、大きな学校事故が起こる時期だそうです。今年は特に心配かもしれません。だからこそ組織的な対応をしていく必要があります。学年、学校全体で力を合わせていきましょう。

### さ：最悪を想定して

大丈夫だろう。まあ、たいしたことはない。と思わないで、最悪な事態も想定して行動しましょう。そのためにも、まずは周りの人に相談をしていきましょう。

### し：慎重かつ

何かあれば生徒の中に入り、情報を集めたり、対応は職員で役割分担をしましょう。一人で判断して、抱え込まない。

### す：素早く

初期対応が大切です。特に家庭訪問は有効です。行けば、保護者は「わざわざありがとうございます」忙しい時は電話を。

### せ：誠意をもって

生徒や保護者の立場にたって。もし、その生徒が自分のこどもだったら・・・と考えて。どんな対応をしたら安心してもらえるか。

### そ：組織的な対応を

学年部を中心とした組織的な対応を。管理職、長先生や西見先生、田中先生にも相談して動いていただく。一人で悩むことがないように。

私たちがイライラしてはいけません。チーム浮羽中。笑顔を忘れずに、心に余裕をもって、みんなで対応していきましょう。

## □学年目標、学級目標の振り返りを！

学年目標・学級目標「3月の生徒の姿 長期」  
自治活動のゴールイメージ

【一学期の具体的目標】「中期」8月までを視野に  
全学年共通目標  
各学年や学級独自の目標

【6月の具体的目標】「短期」先を見て具体的に  
いつ、どのようにやる、生徒はどうなる

○学校目標は「自ら気づき、判断し、行動できる生徒の育成」です。その目標に最終的には繋がっています。みんなとする。(生徒会活動・係活動)、そしてほめあう(友だちの頑張りと、価値の発見)活動を通して生徒と一緒に取り組んでいきましょう。少しずつ目標を焦点化していく。小さな成功体験をクラスや学年、部活の中で増やしていきましょう。

1. 現状分析  
生徒の姿はどうか
2. 問題把握  
それは問題なことなのか
3. ゴールイメージ  
2の問題は○月までにこうなるべき
4. 課題把握  
「ゴール」－「現状」＝課題  
2の問題となっている要因は何か
5. 具体的な方法、生徒の姿の確認  
4の課題を解決するために  
●方法：いつ、だれが、どのようにするか  
●生徒の姿：どのようになるか  
☆全員がやるのが理解できる  
☆できた、できていないが検証できる。
6. 4のゴール、現状は必ず変わってくる。  
だから、課題も変わる。  
マンネリ化にならないように、一ヶ月ぐらいで見直す